

平成4年中における合計所得金額	軽減又は免除の割合
180万円以下であるとき	全 部
240万円以下であるとき	10分の8
330万円以下であるとき	10分の6
450万円以下であるとき	10分の4
450万円を超えるとき	10分の2

①冷害による農作物の減収損失額（農業共済組合からの共済金を控除した金額）が、平年に於ける農作物の収入額の十分の三以上である農家

②平成4年中の合計所得金額が六百万円以下の農家（農業所得以外の所得が二百四十万円を超えるものを除く）

〈減免の額〉

市民税は農業所得にかかる所得割額のうち、第三期と四期の税額について（特別徴収の市民税については五年十二月徴収分以降の税額）、国保税は第三期と四期の税額について、次表により軽減、または免除されます。

これは、農作物に被害を受けた農家に対して、平成5年度分の市民税と国保税を減免することによって、被災農家の負担の軽減を図ろうとするものです。〈対象となる農家〉

①冷害による農作物の減収損失額

（農業共済組合からの共済金を控除した金額）が、平年

における農作物の収入額の十分の三以上である農家

市では、米への依存度が高い農業生産構造の改善を目指して、野菜等園芸作物との複合経営による施設園芸作物の推進しています。野菜等園芸作物の产地として定着するためには、優良種苗を生産、供給する施設が必要なことから、種苗センターを設置するものです。

・ガラス温室一棟
・三七五平方メートル
・パイプハウス五棟
・一、二〇七平方メートル
・防虫ネットハウス二棟

市民税は農業所得にかかる所得割額のうち、第三期と四期の税額について（特別徴収の市民税については五年十二月徴収分以降の税額）、国保税は第三期と四期の税額について、次表により軽減、または免除されます。

「大館市地域種苗センターに関する条例案」が可決されました。

・補助温室一棟
・五四平方メートル
・床土施設一棟
・一七二二平方メートル
・総面積二、四五六平方メートルで、赤石字伊勢堂岱に建設中で、一月下旬完成予定です。

大館市地域種苗センターを設置



建設中の種苗センター

新たに短大生も対象に 稲作資金を増額

「大館市奨学資金貸与に関する条例の一部を改正する条例案」が可決されました。

これは、近年の大学等における授業料や各種納付金などの引き上げ及び諸物価の高騰に対処し、貸与金額を増額するととも

・ 蒔苗 誠氏 を選任

固定資産評価審査委員会委員

新たに短大生も対象に
稲作資金を増額

（後任人事案件が提出され、全員推薦されました。）

に、今までは、四年または六年制の大学在学者に限られていた奨学資金を、新たに短期大学在学者も対象として、就学による経済的負担を軽減し、就学機会の拡大を図ろうとするものです。貸与額は年間二十四万円から三十六万円に改正されました。

人権擁護委員

石川 秀子氏

渡邊 二郎氏

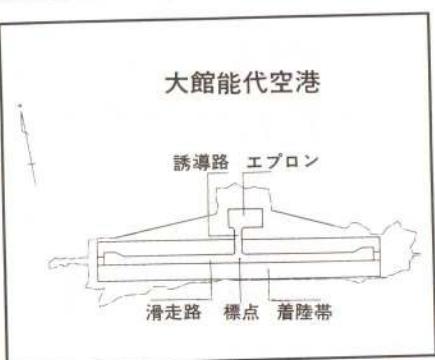
畠山 善三氏

木村和市郎氏

人権擁護委員の石川秀子氏

（餅田二丁目・七十四歳）、渡邊二郎氏（花岡町・六十九歳）、畠山善三氏（中道二丁目・六十一歳）、木村和市郎氏（糸迦内・六十一歳）の任期が平成六年三月十四日で満了することから、その後任人事案件が提出され、全員推薦されました。

10年10月開港予定 大館能代空港設置決定



去る十二月二十七日、運輸省は大館能代空港の設置を正式に許可しました。これにより、県北地域待望の空港建設が、いよいよスタートすることになり、六年度は用地買収と一部造成工事、七年度から本格的な工事が始まります。八年度からは滑走路、ターミナルビルなど空港施設の建設にかかり、平成十年十一月の開港を目指します。

大館能代空港は、二千メートルの滑走路、二百三十メートルの誘導路、二万四千七百五十平方メートルのエプロンを有する第三種空港で、総面積は百二十三万七十一平方メートル。アクセス道路などを含めた総事業費は約五百三十億円で、鷹巣町大野台地内に建設されます。